

## 地域医療構想を踏まえた「公的医療機関等2025プラン」「新公立病院改革プラン」対象病院

		病院名	対象理由	所在区市町村
西多摩	1	青梅市立総合病院	公立病院（地域医療支援病院）	青梅市
	2	公立福生病院	公立病院	福生市
	3	公立阿伎留医療センター	公立病院	あきる野市
	4	奥多摩病院	公立病院	奥多摩町

医療機関名 青梅市立総合病院

### キーワード1 役割分担

当院においては、本構想区域で不足している、高度急性期機能を中心とし、急性期機能を含めた役割を担っていく必要があると考えています。そのためにも現在計画の中の新病院においては手術室や集中治療系の病室を中心に強化を図るべく、基本設計を実施中です。

### キーワード2 情報共有

当院の新改革プランにおいては、現在進行中の東京総合医療ネットワークへ参加し、本ネットワークによる情報共有を想定しています。このことにより患者さんの情報を医療機関同士で共有化し円滑な連携に取り組みたいと考えています。

### キーワード3 連携の円滑化

高度急性期から症状の改善した患者さんを円滑に回復期・慢性期機能を有する医療機関へ転院させるためにも、当院自身が退院調整機能を強化するとともに、地域の医療機関と連携を強化することを進めていきたいと考えています。

1. 「地域」としてどの範囲を意識していますか。また、その範囲が構想区域外に及ぶ場合、関係機関等と連携するための取組を何か行っていますか。

当院は本構想区域である西多摩保健医療圏を主な地域として意識しています。

2. 近隣の関係機関と遠方の関係機関、それぞれにおける連携方法等の違いについて記入してください。

近隣の関係機関との連携としては、地域連携室を中心として地域の診療所の先生方との顔の見える関係を構築するため、当院で症例検討会を中心とした懇話会を開催するとともに、診療科ごと研究会の開催などに取り組

み、紹介・逆紹介に努めています。

遠方の関係機関との連携としては、がん診療拠点病院であることから、がん患者さんについては、国立がんセンター等との連携を行うとともに、当院では対応の難しい症例については、関係医局等との良好な関係の維持に努めながら、大学病院等と連携を行っています。

#### 4. 病床機能を分類するに当たっての根拠や理由について記入してください。

当院は高度急性期・急性期機能を中心とした役割を果たしていきたいと考えていますので、三次救急としての救命救急センターはもとより、重傷な患者さんや高度な手術の必要な患者さんに対応する循環器病棟、外科系の病棟を高度急性期機能の病床とし、その他の病棟については急性期機能の病床として報告を行っています。

#### 5. 自院の持つ機能を活かすために、他の医療機関に求めることについて記入してください。

当院が高度急性期・急性期機能を中心とした役割を果たし、患者さんをスムーズに在宅へ移行していただくためにも、症状が安定した患者さんを回復期・慢性期機能持つ医療機関等と連携し、スムーズに転院できるよう、今後も退院調整を強化していきたい。また、そのような機能を持つ医療機関については積極的に当院からの患者さんの受入を行っていただけるよう、ご対応いただきたいと思います。

また、救急医療という点からは当院は救命救急センターがありますので、二次・三次の救急患者さんにしっかり対応していきたいと思っています。そのためにも、各市町村の行政には一次救急への積極的な取組を行っていただくとともに、開業の先生方のご協力もいただきたいと思います。

あわせて、各市町村の行政には「かかりつけ医制度」など現在の医療制度についての地域住民に対する教育に取り組んでいただき、不要不急な受診を控えていただくような取組を推進していただきたいと思います。

公立福生病院

(キーワード1:役割分担)

急性期患者への治療行為を軸とした入院、医療相談等に加え、回復期機能部分の地域包括ケア病棟の充実を図る。

(キーワード2:情報共有)

地域の医療・介護・福祉と連携し、必要な時に医療・福祉がスムーズに介入できるように日頃から情報交換をおこなう。

(キーワード3:連携の円滑化)

自院の役割を認識し、医療機関の特徴を踏まえ、紹介・逆紹介をおこなう。  
相談窓口の一本化でスムーズな医療のバトンタッチを図る。

1 「地域」としてどの範囲を意識していますか。また、その範囲が構想区域外に及ぶ場合、関係機関等と連携するための取組を何か行っていますか。

構成自治体である2市1町(福生市、羽村市、瑞穂町)を中心とした西多摩地域。

2 近隣の関係機関と遠方の関係機関、それぞれにおける連携方法等の違いについて記入してください。

多摩西部地区までの範囲であれば定期的な情報交換会をおこなっているが、遠方(都内)とは、日常的な連携はとっていない。

3 地域包括ケア病棟を有している、又は有する予定の場合、ポストアキュートとして使っているか、サブアキュートとして使っているか、更に今後どのように使用していく予定かについても記入してください。

ポストアキュートが殆どとなっているが、レスパイト患者の直接入院等も一部扱っている。

4 病床機能を分類するに当たっての根拠や理由について記入してください。

下記の病床種別毎に分類。

- |                  |   |         |
|------------------|---|---------|
| ・ハイケアユニット病床 (6床) | … | 高度急性期機能 |
| ・7対1病棟 (265床)    | … | 急性期機能   |
| ・地域包括ケア病棟 (45床)  | … | 回復期機能   |

5 自院の持つ機能を活かすために、他の医療機関に求めることについて記入してください。

高度医療機器や施設(特に核医学検査など)をさらに利用していただければと存じます。

# 平成30年度第1回地域医療構想調整会議 事前提出資料

医療機関名 公立阿伎留医療センター

## ( キーワード1: 役割分担 )

西多摩地域における、少子高齢化及び急速な高齢化による疾病構造の変化、高度、細分化する医療を背景として、これまでの病院完結型ではなく、地域において異なる機能を有する病院・診療所・介護施設等が、各々の特徴を活かしながら役割を分担し、地域の医療機関全体で一つの医療機関としての機能を有することで、切れ目のない医療を提供していく地域完結型医療の構築を目指す。

今後、秋川流域の地域完結型医療提供体制における急性期基幹病院として、二次救急を中心とした救急医療、高度医療及び政策医療など、地域医療の確保と質の高い医療の提供に努めることで地域社会に貢献していくことが、当医療センターの役割と考え、また地域特性に合った医療として、地域包括ケアシステムの構築を見据え、医療センターの役割として地域包括ケア病棟の充実を図る。

## ( キーワード2: 情報共有 )

医療センターと地域医療機関等が協力し、共同して役割を果たすことが重要であり、そのため密接な連携体制の構築とともに様々なツール等の利用により情報の共有化を図る。

## ( キーワード3: 連携の円滑化 )

当医療センターが地域完結型医療供給体制の中核的な役割を担っていくためには、診療機能の特色化・地域医療機関や福祉施設等との連携の推進は欠かすことができないため、当院の地域医療連携センターの機能強化を図り関係機関等との連携の推進を図る。現在、地域医療連携センターは、病院のゲートキーパーとして地域医療連携、入退院支援相談、病床管理、医療福祉相談、ボランティア活動と健康出前講座のマネジメント等の役割を担っている。

**1 「地域」としてどの範囲を意識していますか。また、その範囲が構想区域外に及ぶ場合、関係機関等と連携するための取組を何か行っていますか。**

当医療センターの診療圏は西多摩保健医療圏に加え、あきる野市に隣接する八王子市・昭島市の一部であるが、その中でもあきる野市、日の出町、檜原村の患者が80%を占めているため、秋川流域を中心的な範囲として考えている。また、隣接する区域からの患者については、状況に応じ当該区域の医療機関等に患者紹介をするなど連携を図っている。

**2 近隣の関係機関と遠方の関係機関、それぞれにおける連携方法等の違いについて記入してください。**

当医療センターが秋川流域の中核的な役割を担い、地域社会に貢献していくためには、地域医療機関等との連携の推進により、医療の継続性の確保、診療機能の一貫性が保持されるなど、より高度で効率的な医療が確保されると考える。よって地域医療連携センターによる地域の関係機関への訪問活動などを進め、顔の見える連携体制の構築を図っていく。

また、西多摩圏内の公立病院との連携により各病院の医療機能を最大限に活用するなど有機的な連携を推進していく。

**3 地域包括ケア病棟を有している、又は有する予定の場合、ポストアキュートとして使っているか、サブアキュートとして使っているか、更に今後どのように使用していく予定かについても記入してください。**

当医療センターは、地域完結型医療提供体制における急性期基幹病院として、地域社会に貢献していくことが役割と考えていることから、現状の地域包括ケア病棟は、主にポストアキュートとして使用している。今後の地域包括ケア病棟については、地域のニーズ等を踏まえながらサブアキュートとしての活用も検討していく。

**4 病床機能を分類するに当たっての根拠や理由について記入してください。**

当医療センターは、地域の急性期基幹病院として、地域社会に貢献していくことが役割と考えていることから、急性期機能については、急性期の患者に対し状態の早期安定化に向け継続的な医療を提供する機能として考えている。回復期機能については、当医療センターの回

復期リハビリテーション病棟として、主として急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリの提供を主とするものと考えている。

**5 自院の持つ機能を活かすために、他の医療機関に求めることについて記入してください。**

地域において異なる機能を有する病院・診療所が各々の特徴を活かしながら役割を分担し、地域の医療機関全体で一つの医療機関としての機能を有することができるような連携体制の構築。

## 地域医療構想調整会議 事前提出資料

医療機関名 奥多摩病院

### (キーワード1：役割分担)

当院が苦手とする、高度医療、周産期医療については高次医療機関さんにお頼りし、当院はその他の保健・予防医療、プライマリケア、軽症・中等症救急、終末期医療、在宅医療、施設診療などの機能を役割分担として充実させていただきたいと考えています。

### (キーワード2：情報共有)

当院の医療連携担当である看護師長を中心に、日頃から他医療機関との患者さんの情報共有を進めています。

### (キーワード3：連携の円滑化)

会議、研修会等で他医療機関との連携の円滑化を試みている上に、当院院長が青梅市立総合病院の救急業務に月2回週末当直帯に携わっており、顔の見える連携づくりを心掛けています。

1 「地域」としてどの範囲を意識していますか。また、その範囲が構想区域外に及ぶ場合、関係機関等と連携するための取組を何か行っていますか。

当院は道路1本、車で40分で青梅市立総合病院さんへアクセスできる立地にあります。別の言い方すると、他の病院さんへのアクセスは一段階困難となる状況です。「地域」としては、青梅、羽村、福生、あきる野市、日の出町などが範囲として意識していますが、青梅総合さんにお頼りすることが多いのが現状です。青梅市立総合病院さんとは日頃の患者さんのやり取りにおける情報共有、会議、研修会等で連携の円滑化を試みている上に、当院院長が青梅市立総合病院の救急業務に月2回週末当直帯に携わっており、顔の見える連携づくりを心掛けています。

2 近隣の関係機関と遠方の関係機関、それぞれにおける連携方法等の違いについて記入してください。

近隣の関係機関とは日常的な患者さんのやり取り、遠方の関係機関は主に救急患者さんの近隣医療機関での受け入れが困難な際に連携させていただくことが多いです。

3 地域包括ケア病棟を有している、又は有する予定の場合、ポストアキュートとして使っているか、サブアキュートとして使っているか、更に今後どのように使用していく予定かについても記入してください。

(地域包括ケア病床がない、又は有する予定がない場合は記入不要です。)

地域包括ケア病床 6 床を近日中に運用開始する予定です。主に在宅、施設患者さんを受け入れ、お返しするサブアキュートの機能を充実させる予定です。

4 病床機能を分類するに当たっての根拠や理由について記入してください。

当院は 13 対 1 の急性期病床を中心に、よりリハビリを充実させ患者さんが地域へ戻れるように地域包括ケア病床を設置する予定です。

5 自院の持つ機能を活かすために、他の医療機関に求めることについて記入してください。

当院が苦手とする、高度医療、周産期医療については高次医療機関さんにお頼りし、当院はその他の保健・予防医療、プライマリケア、軽症・中等症救急、終末期医療、在宅医療、施設診療などの機能を役割分担として充実させていただきたいと考えています。